

【大成ダイソン 教育奨励賞を受賞！】

一昨年(2010年)の生徒会が、『大成革新』の一環として始めた地域清掃ボランティア活動 = 『大成ダイソン』が、尼崎ライオンズクラブから教育奨励賞をいただきました。『Proud of 大成』を掲げた昨年の生徒会、そして『わごころ』を掲げた今年の生徒会に引き継がれた『大成ダイソン』が、地域美化活動として対外的に評価され、取り組みが定着してきたことを嬉しく思います。また、呼びかけに応じて参加してくれている30～40人の生徒の皆さん、ありがとう。さらに、早朝から学校の周りを定期的に清掃してくれている美化委員の皆さん、女子バスケット部、陸上部、剣道部、野球部の皆さん、ありがとう。皆さんの活動も、近所のおばちゃんから褒めていただいています。自慢がまた一つ増えました。



(2月の表彰)

- ・男子バスケット部：1年生大会第3位
- ・女子ソフトボール部：会長杯準優勝
- ・書道展入選：中洸介 泉愛莉 山里奈菜 土野寿々 東真彩 福田千晴 竹村みなみ
土井春奈 岡彩奈 西村未歩 高橋奈央 西愛梨加 原田美結 清水七海
橋本理沙 角濱凧咲 樫本千尋 久村さち 西田琴美 仲前将仁
(技術・家庭科展入賞者は、次回に紹介します)



【卒業式】

2月25日から3月1日にかけて、市内の各高等学校で卒業式がありました。(8日実施の学校もあります。)どの高等学校も“さすがに高校生”と思わせる厳粛な雰囲気の中で、式が粛々に行われました。最近チャラけた高校生をよく見かけますが、卒業式という儀式にあわせて服装や髪型もふさわしく整えられていました。もちろん呼名の返事もしっかりしていて、列席されている保護者にまで届く声の大きさでした。感動しました。

さて、いよいよ11日は本校の卒業式。儀式にふさわしい服装や態度で、一生に一度しかない中学校の卒業式を感動あふれる式にしましょう。皆さん自身にとっても、皆さんをここまで慈しみ育てて下さったお父さんやお母さんにとっても、思い出に残る卒業式にしたいですね。

卒業式まであと9日。もう7日間しか登校日がありません。見慣れた校舎、教室、体育館、運動場、そして共に過ごした仲間や先生ともお別れ。大切に7日間を過ごしたいね。



【梅の花】

先日、“南高梅”で有名な和歌山県の“みなべ梅林”に行ってきました。見事に咲き誇った約5万本もの梅林の中を散策しながら、どんな急斜面に植えられた梅一本一本にも、十分な手入れがなされていることに驚きました。『桜伐る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿』という格言があります。『桜は、幹や枝を切るとその部分が衰弱してしまう。梅は、余計な枝を切らないと、良い花や実がつかなくなる。樹木の剪定(枝を切って形を整える)には、それぞれの木の特性に従って対処する必要があります。』という意味です。まさしく日本一の梅を育てるために、大変な手間をかけているのですね。人間にも桜タイプの人(手をかけすぎると枯れてしまう人)と梅タイプの人(放っておくと良い花が咲かない人)がいるようですが、あなたはどのタイプかな?ところで、梅の花は冬の寒さにじっと耐えて美しく咲くことから、不屈の精神のシンボルとする国もあるそうです。不屈の精神...これはぜひとも養ってほしい。



【手応えあり・良い感じ】

保護者の皆様や生徒、教職員による学校評価アンケートの集約がようやくできました。後日報告させていただきますが、例えば、『学校は、学力向上によく取り組んでいる』という項目では、21年度に比べ22年度は、どの学年も10%向上しました。『豊かな心を育む取り組みを行っている』という項目でも、15%～20%向上しました。そのほかの項目でも全体的に改善傾向が見られ、学校評議員の皆さんにも高く評価していただきました。先生方の努力がようやく実を結びつつあることを喜び、保護者の皆様のご支援に感謝したいと思います。ありがとうございました。

